

特集 ①後継者講習会 スタート！ ②初参加者を増やそう「こどもおぢばがえり」

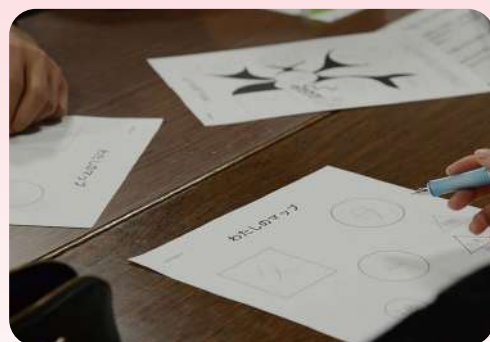
《親のことば》

親神様から選ばれたランナー

親神様には、いつでも先々の模様は十分にお分かりになっているのだから、次々にバトンを受け継ぐにふさわしい人を、その時代に生きるように計らってくださっているように思えてならない。

今度は、受け継いだ私たちが一生懸命に与えられた区間を走り切って責任を果たして、次の者にタスキを渡さなければならない番が来る。

(立教 161 年「後継者講習会」第 25 次における
三代真柱様お言葉より)



①後継者講習会 スタート！

矢印を自分の心に向けて

おぢばで10年ぶりに開催されている「後継者講習会」。実行委員長であられる中山大亮様が、「この講習会で人生が変わった、と思えるような講習会にしたい」と仰せられるように、これまでの生き方を見つめ、教えに基づいた生き方を学び、実践するための講習会です。10月中旬の第7次までで、芦津から100名以上が受講。受講者からも好評の、講習会の詳細を紹介します。

自分を見つめなおす

8月28日より親里で、いよいよ「後継者講習会」が始まりました。この講習会は、お道を通る20歳から40歳までのすべての若者が対象で、おぢばに帰り集い、教祖が教えてくださった道を学ぶための講習会です。講習会のテーマは「日々の陽気ぐらしの実践」。日頃から喜び勇んで信仰生活を送り、周囲の人たちとたすけあって、陽気ぐらしを実践できるようになることを目指しています。受講者は2泊3日のプログラムの中で、それぞれ教えに基づく生き方を考えます。



詰所から宿舍へ送迎の後、オリエンテーション。神殿に移動して東礼拝場でおつとめを勤め、第3食堂で開講式があります。実行委員長の中山大亮様は「こ

の講習会をきっかけに、自分の心と向き合って、これからの人生をよりワクワクするものに変えていただきたい」と挨拶されました。

後継者講習会プログラム (時間は9月中旬のもの)

《初日》		9:05	クラスミーティング③
8:30	集合、受付 説明の後、出発	11:00	ビデオ視聴 昼食
10:00	オリエンテーション	12:30	第2講講義
11:00	おつとめ	13:35	クラスミーティング④
11:40	開講式	15:15	全体感話
12:20	昼食	16:15	婦人会・青年会の時間 夕食
13:05	クラスミーティング①	18:45	夕づとめ 入浴、夜の挨拶、就寝
14:30	クラスミーティング②		
16:15	男女別感話 夕食		
18:45	夕づとめ 入浴、夜の挨拶、就寝		
《2日目》			
5:30	教祖おでましお迎え	5:30	教祖おでましお迎え
5:45	朝づとめ 朝食	5:45	朝づとめ 朝食、宿舍清掃
7:55	朝のあいさつ	8:00	第3講全体講義
8:00	第1講講義	9:00	クラスミーティング⑤
		10:45	真柱様お言葉
		11:30	閉講式

「共感」と「刺激」

昼食の後、おやさとかた東左第3棟へ移動。班ごとに指定された教室に入り、クラスミーティングがあります。

クラスミーティングとは、6人から8人程度のグループで、テーマに沿ってそれぞれが話す時間です。各教室に世話係がつき、話がスムーズに進むようリードしていただきます。

講習会が始まる時点では、受講者たちは皆、緊張した状態です。しかし、「最初は不安しかなかっ



クラスミーティングの様子

た」(20代男)という受講者も、このクラスミーティングがきっかけで徐々に打ち解けていきます。最初はクラス全員でゲームをしてから、6～8人のグループに分かれ、シートを利用して自己紹介などを行い、自然とリラックスして和やかな雰囲気になっていきます。

クラスミーティングは講習会中、毎日行われ、これまでの自分を見つめ直したり、講話の内容を自分に当てはめて考える時間となります。グループのメンバーは、立場はさまざまですが、同じ世代が集まっており、お互いが信仰体験などを話すことで、刺激を与え合います。お互いの意見に共感しやすいのも、同世代ならではの。「子育てに頑張っている奥さん方の話を聞いて、家



テーマ毎にシートを利用する

内への感謝の思いが湧いてきました」(30代男)など、人の意見を聴くことができる貴重な時間です。

初日の夕方は、男女ごとに別れて、代表者2名ずつの感話を聴きます。その後、各自で本部タづとめに参拝し、入浴、就寝。

夜は、これまでの講習会に比べて、自由時間が多くなっています。この時間を利用して、宿舎内では、芦津の受講生同士が、交流を深める時間にもなっています。

講義の内容を心に

2日目は、朝の教祖おでましお迎えから始まります(女子のみ、男子は3日目)。朝づとめ、朝食の後、講義が始まります。第1講は、「日々の身近なところからの陽気ぐらし」。教祖のお言葉や、おふでさき、おさしづを元に、「陽気ぐらしとはどういう生き方か」を、講師が体験を交えながら話します。続くクラスミーティングでは、講義の内容を自分に当てはめ、発表することで、思い

を深めます。

午後からは第2講「陽気ぐらしの実践」。第1講と同じ講師が、どのように陽気ぐらしを実践すればいいのかを話します。続くクラスミーティングでは、「自分には何ができるのか」という自らの実践について考え、心に治めます。

「改めて、陽気ぐらしについて考えることができました。同じ講義を聞いても感じることはみんな違って、すごくいいミーティングになりました」(20代男)

第1講「日々の身近なところでの陽気ぐらし」

陽気ぐらしとはどういう生き方なのかについて学ぶ

第2講「陽気ぐらしの実践」

自分にできる陽気ぐらしとは何かをそれぞれが思案する



第1講、第2講とも同じ講師がお話

学んだことを活かして

3日目も、本日の朝づとめから始まります。朝食後、第3食堂で全体講義「たすけ一条の道」。本部員先生が「つとめとさづけ」を元としたお話をしてくださいます。なお、8月末の第1次では、大教会長様が講師を務められました。

教室に戻り、最後のクラスミーティング。講習会中のことを振

り返るとともに、自らの心に矢印を向け、心の遣い方を見つめ直します。「普段の職場では、忙しいとピリピリした雰囲気になり、自分も周りの人と一緒になって不平不足を言っていたのですが、まずは自分が、どんな時でも笑顔で接するすることで、何かが変わればいいなと思います」(30代女)。「私にとって苦手な人は、私を成長させてくれる人。この人を通して大切なことを教えて



第3食堂での講義。左側手前は、耳の不自由な受講生に話を伝える手話スタッフ



いろいろな人の思いに耳を傾ける

くださっているんだ、と気付いた」(20代女)など、受講生は前向きな心が変わっていきます。

講習会の締めくくりに、教祖殿御用場へ移動して、真柱様よりお言葉を頂戴します。真柱様は「この講習会で学び、体験したこと、感じたことを活かして、成人の道を進んでいただきたい」と仰せくださいました。最後に東礼拝場で、お礼のおつとめ。3日間のお礼と、帰ってからの「陽気ぐらしの実践」をお誓いします。

教会につながろう

詰所に戻ると、大教会長様からお話があります。大教会長様は、「自分の心に矢印を向けることを習慣づけよう」と促され、「成功した人を見れば『自分には何が足りないのか』、失敗した人を見れば『自分にも同じところはないだろうか』と、この道の教えに照らして矢印を自分の心に向けて、陽気ぐらしを実践できる」と仰せくださいました。さらに、所属教会に繋がり、教会のために何か一つでも実践し

てほしいと促されました。

全員で記念撮影をし、大教会長様を囲んで会食。受講者から一言ずつ感想を述べてもらいますが、ほとんどの受講者が家族や周囲への感謝の言葉を述べます。また今後、自分にできる陽気ぐらしの実践や、前向きな気持ちを表現されます。「有り難いと感じたことを友達や家族に伝えて、友達をぜひ天理に連れてきたいなと思います」(30代女)。

3日間で、若者が自分を見つめ、心の向きを大きく変えることのできる講習会でした。



大教会長様のお話

※後継者講習会は、来年3月末まで開催されますが、まだ**新規での受け付けが可能**です。受講を希望される方がおられましたら、芦津大教会担当者・石川健郎(いしかわたけお)(06-6702-1980)まで、ご連絡をお願いします。

スタッフの真実に感激

後継者講習会は、20歳から40歳までが受講対象のため、子育ての最中の方がとても多い。そのため、ご本部では天理託児所と連携し、受講中の子供を預かってくださいます。また託児宿舎では、お風呂のときに子供の身体を拭いたり、食事の際に子供をあやすなど、婦人会のスタッフが気配り、心配りをしてくださいます。子育て中の母親は、講話をじっくり聞いたり、ねり



子供たちを預かる天理託児所（婦人会）

あいに参加することもなかなか難しいのですが、後継者講習会では、子供を連れてでも安心して受講できるよう、準備されています。「受講中、子供が熱を出してしまい、託児所に迎えにいくとぐったりしていたのですが、婦人会の奥様が『大丈夫だよ、3日間通れるよ』と言ってくださり、おさづけを取り次いでくださいました。宿舎に帰っても、スタッフの皆様の笑顔にたすけていただき、安心して残りの講義を受講できました。本当に気配りと目配りができる方々にたすけていただいて、感謝しています」(30代女)

また講習会では、困ったことや、体調のすぐれないときなど、スタッフが迅速に対処してくださ



託児所には看護スタッフが常駐

います。「参加する当日の朝にめまいを起こしたのですが、いろんな方におさづけを取り次いでもらい、最初のおつとめの後に、すぐめまいが治まって、有り難いことがいっぱい起こりました。天理はやっぱりすごいところだと思いました」(30代女)

道を通る若者たちや、子育て中の親も安心して受講できるよう、大勢のスタッフの誠真実によって、この講習会は運営されているのです。

特集② こどもおぢばがえりの勧誘

初参加者を増やそう「こどもおぢばがえり」

少年会行事の頂点と言われる「こどもおぢばがえり」。近年、特に「初参加者の増加」に力を入れるよう、ご本部より促されています。少子化と言われている中、初参加者を大勢お与えいただいている教会にスポットを当て、お話を伺いました。



初めての子供が14名参加

少年会紀内隊（和歌山県海南市）は、7月30日から1泊2日、JR団体列車で帰参しました。引率の吉田幸恵さんは、近所の小学校の校門前で、勧誘チラシを配っています。「毎年のことなので、子供たちが私たちの顔を覚えてくれています。春ぐらいから始めるのですが、『今年も行くよ!』とすぐ

に返事をくれる子もいます」。学校前でのチラシ配布は、吉田賢治会長が引率をしている頃から、長年続けているとのこと。「今では、子供同士で誘ってくれるので、有り難いです」。今年、紀内隊は初参加者が14名にのびりましたが、その中で「柔道を習っている3人兄弟を初めて『道の子武道大会』

に誘いました。団体とは別の便で帰参し、大会終了後に合流。兄弟のご両親にもおぢばに帰っていたいたのですが、『毎年、こんなに大勢の子供が来てたんやねえ』と感心してくださいました」。親と一緒におぢばがえりすることも、今後の子供たちの丹精に、大きな影響を与えそうです。



11月23日(祝)

人材育成講習会

大教会

- 大教会 11 月月次祭神殿講話として
- 講師 板倉知幸先生
(本部准員・布教部社会福祉課長)
- 内容 次代の道を担う若い世代の育成や
道の中核である中高年層の丹精を
さらに推し進めることを目的に、
人材育成に関するお話があります。

学用品リユースのお願い

天理高校や教校学園高校を卒業された方で、制服や学校指定のかばんなど、今後使う予定のない物がございましたら、進学を希望される学生に利用していただきますので、お譲りいただきたいと思います。できるだけきれいな状態で、詰所事務所までお届けくださいますよう、よろしくお願いします。

詰所主任

CLOSE
UP!

「夏やすみ教会子弟参拝日」に 100 名以上の子供たちが参加

POINT 夏休みを利用して子供たちが大教会に参拝

家族が揃って教会に参拝することは、「縦の伝道」において大変重要な角目です。「教会長子弟育成プロジェクト」の一環として、まずは教会長家族が揃って大教会の月次祭に参拝し、これからの人材育成の機運を盛り上げていこうと、8月23日を「夏やすみ教会子弟参拝日」と提唱して、呼びかけを行いました。当日は、芦津鼓笛バンドのお供え演奏もあり、大勢の子供たちの声で大教会は大変賑わい、夕づとめ後の直会には、かき氷や綿菓子が振るまわれました。

今後、ようばく・信者の子弟も含め、大勢の子供たちが夏休を利用して、大教会に参拝するきっかけとなる「親子参拝日」として提唱していく予定です。



芦津鼓笛バンドのお供え演奏



夕づとめ後の直会にも大勢の子供が

人を育てる「座右の書」

人を導くために参考となる書籍を紹介します



●素直な心になるために／松下幸之助著

●P H P 文庫

●555 円（税込）

どんないいことを説いても、
その為どころがそれに反していたのでは、
十分な説得力は持ち得ない。

本書で松下幸之助氏は、人間が最も好ましい生き方を実現させるためには、それにふさわしい考え方や行動をすることで、その根底にあるのが「素直な心」とであると説きます。著者の人間観・経営観には素直な心があり、その心が強く正しく聡明な人生の歩みを可能にすると示しています。

①後継者講習会 スタート！ ②初参加者を増やそう「こどもおぢばがえり」

あしっ

育成だより

4

立教 180 年 10 月 23 日発行
編集 / 天理教芦津大教会育成部